

かやぶきの里保存会・(有)かやぶきの里



かやぶきの里の景観

「かやぶきの里」の愛称で呼ばれる旧美山町の北集落では「かやぶきの里保存会」を組織し、永続的な歴史的景観の保存と地域住民の生活を両立するため、住民出資で「有限会社かやぶきの里」を設立。

地元産きびなどを加工する「きび工房」、農家レストラン「きたむら」、直売所「ゆらり」の運営及び地域の景観保全やボランティアガイド、民宿「またべ」で田舎体験などを実施。



なんたん
京都府南丹市
みやまちょう
(旧美山町)



かやの葺き替え

〔景観の保全、伝統文化の継承〕

田畑が管理保全されることでかやぶき民家集落といった伝統文化の保護や伝統的風景の維持、かやぶき屋根の更新技術の継承、田植え（お田植え祭）を実施。

〔体験学習と教育〕

修学旅行等で、さば寿司作りやそば打ち体験を実施。

〔保健休養〕

田畑を含む美山の農村環境（伝統的風景）は多くの人々に受け入れられ、年間70万人がかやぶきの里を来訪。交流による集落保全の意識が向上。

かやぶき屋根民宿などで過ごすことによる身心機能回復。



特産品販売所「かやの里」



交流館



民宿「またべ」



きびの収穫



稲掛とかやぶき民家



伝統着に身を包んで
「お田植え祭」